

取扱説明書 Ver 1.00

**FES-623**

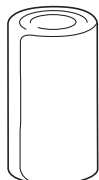
**リビングシェル2026EDITION**



この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品はキャンプ用シェルターです。安全にご使用いただくためにも必ずこの取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解できない点及び製品に不具合が確認された際には、直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

## セット内容

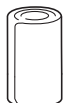
セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。頑丈で長めのペグや、ロープなどを用意されると、柔軟な対応が可能となります。また、ペグやロープ自在は消耗品です。常に予備を携行することをお勧めします。



本体



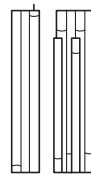
インナー  
ルーム



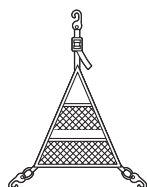
シールド  
ルーフ



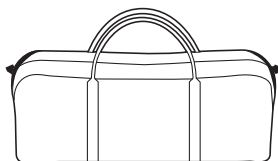
グランド  
シート



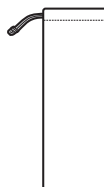
リッジポール、Aフレーム×2、  
Cフレーム×2、アップライトポール×2



三角ポケット×2



キャリーバッグ



フレームケース



グランドシート  
ケース



ペグケース

本製品にはジュラルミンペグが付属されておりません。  
お手持ちのペグを別途ご用意ください。

【ペグの条件】 21cm 以上 × 24本

(インナールーム・グランドシート固定用、  
出入口用ドアパネルを張り出し固定用4本含む)

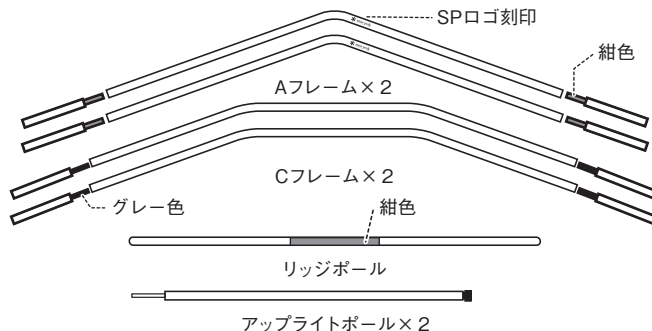


自在付ロープ  
(二又7m×2、3.5m×4、2m×4)



取説冊子  
(本書)

## フレーム構成



**△ 危険** 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- 本製品の素材は難燃性ではありません。シェルター内では燃烧式のランタンやこんろ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ろうそく、ライター、たばこなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災や酸素欠乏、一酸化炭素中毒などのおそれがあり大変危険です。
- シェルター内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。



**△ 警告** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

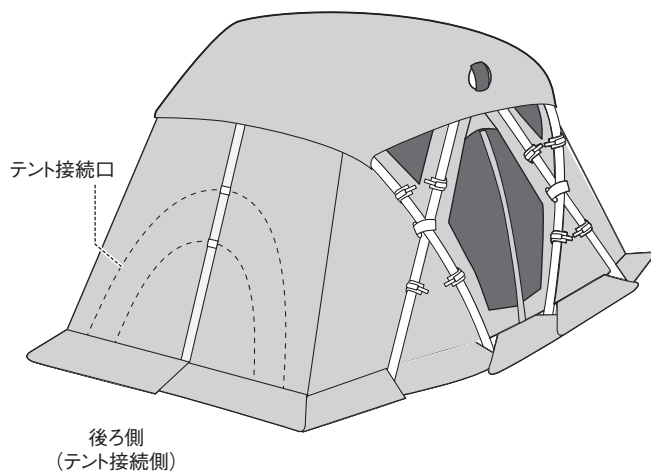
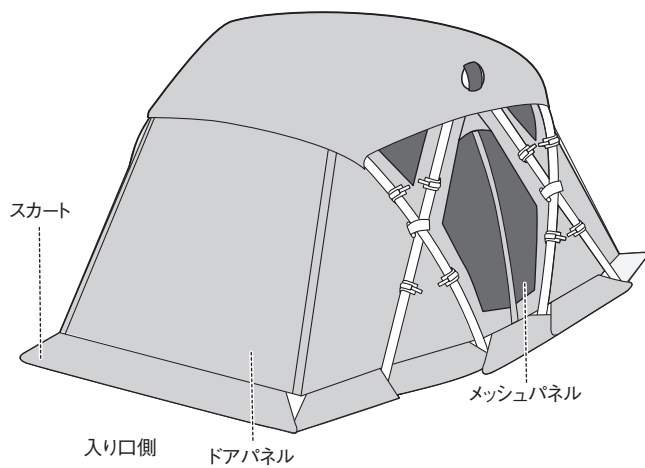
- ご使用前に本製品を点検し、各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービスに点検または修理を依頼してください。
- 気象状況には常に細心の注意を払い、悪天候(大雨、降雪、強風、雷等)が予想されるときは速やかにキャンプを中止して、安全な場所に避難してください。万一悪天候にみまわれたり、強風時などにはベグやロープがしっかりとつながれているかなどを、時々点検してください。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。火災や熱中症などの危険があります。
- 天候により、シェルター内が高温になり、熱中症などの危険があります。お子様の昼寝の際など、細心の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な出水などのおそれのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。
- 足もとのビルディングテープ、ロープやベグなどにはご注意ください。足を引っ掛けて転倒し、思わぬ事故の原因となります。



**△ 注意** ケガや本体破損、物品破損として拡大被害の原因となる行為を示します。

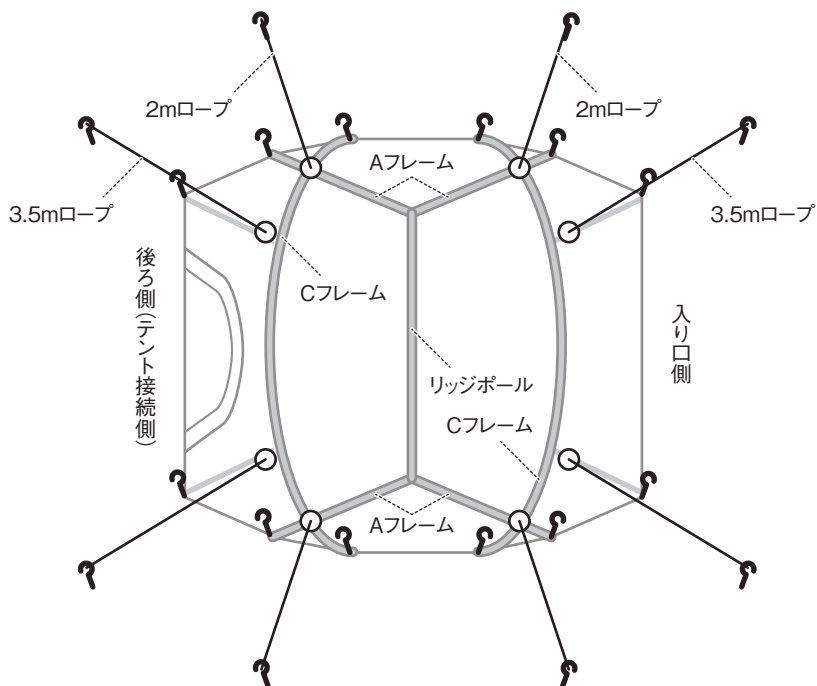
- 本製品は常設用ではありません。本製品の素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 日差しによりシェルターの表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分にご注意ください。
- 焚火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。設営・撤収の際には、周囲に火気がないことを確認してください。火の粉を被ると、生地に穴が空いてしまいます。
- シェルターの設営・撤収の際は、風に飛ばされないよう生地とフレームをしっかりと支えて作業してください。フレーム先端のはね返しなどで思わぬ事故に繋がることがありますので、必ず周囲の安全を確認して作業してください。
- ベグとロープでしっかりとシェルターを固定してください。
- 生地を引っ張りすぎると破損するおそれがあります。ご注意ください。
- ロープを正しく張ることにより風や雨に耐える強度を得ることができます。ご使用の際は取扱説明書(本書)に従い必ずすべてのロープを張ってください。
- 本製品の設営・撤収の際は、フレームをしっかりと掴んで作業してください。フレームの先端がはね返しなどで思わぬ事故になりますので、近くに人がいないかなど、周囲の安全を確認してください。
- 縫製部分にはシームテープによる防水処理が施されていますが、ドアパネルや窓のファスナー部分、テープを縫いつけた部分など、製造の都合上または構造上シームテープが施せない部分があります。通常の雨には十分対応できますが、長時間の大雨や横なぐりの雨の時には、縫い目から雨水が浸入することがあります。ご購入時は、シーリング加工は行っておりませんので、市販のシームシーラント剤をあらかじめ縫い目の表と裏から、縫い目に沿って塗布してからお使いください。
- インナールーム内には小物を吊るすループが付いています。1kgを超えない範囲でご使用ください。

## 各部の名称

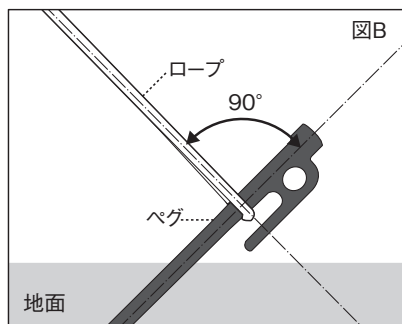
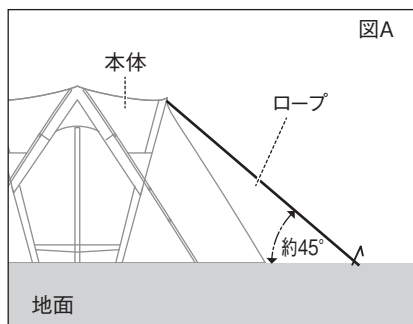


## 自在付ロープ・ペグダウンの位置

ロープの固定、ペグダウンは下図のようにおこなってください。



設営したとき、ロープの角度が地面に対し約45°となるのが理想的なペグダウンの位置です。〔図A〕  
また、ペグを打ち込む角度はロープに対して90°になるようにペグダウンしてください。〔図B〕



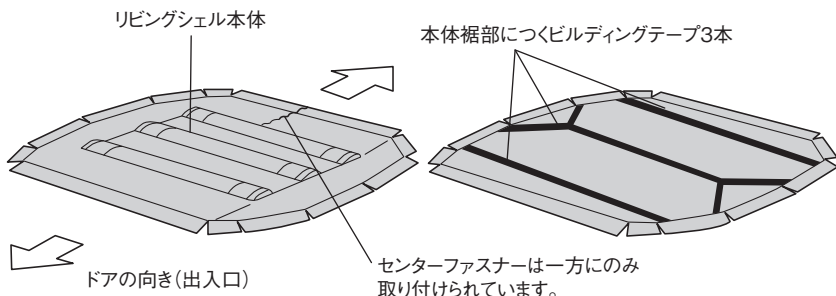
## 初めてお使いになる前に

- 品質には万全を期しておりますが、お使いになる前に必ず試し張りをおこない、付属品や設営道具を確認してください。万一不具合や付属品の欠品があった場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

## 設営の手順 より安全に設営するためにも必ず2人以上で設営してください。

設営・撤収は以下の説明に従い、繰り返し練習し、実際のキャンプに備えてください。また、付属品がすべて揃っているか、前もってご確認ください。無理な設営・撤収は本体やボールの破損や事故の原因になります。本書をよくお読みになりご使用ください。

- ① 本体を設営する平坦な場所に広げてください。このとき、ドアパネルの向きやテント接続口の向きを考慮して向きを決めてください。



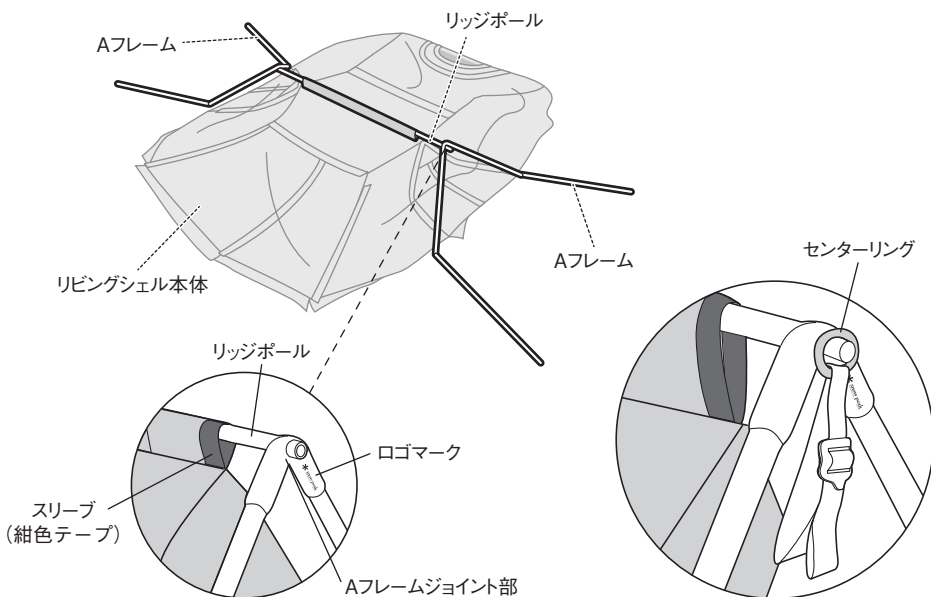
- ② 中央の節が紺色のリッジポールを、紺色テープがついたスリーブに入れてください。そしてAフレームジョイント部に付いているスノーピークロゴマークが外側に向くようにリッジポールを差し込んでください。リッジポールの先端が最後までAフレームジョイント部に差し込まれていることを確認してください。

※Aフレームはすべて組み立ててからではなく、半分程度の高さでセンターリングを引っ掛けた後に組み立ててください。フレームを必要以上に持ち上げないでください。

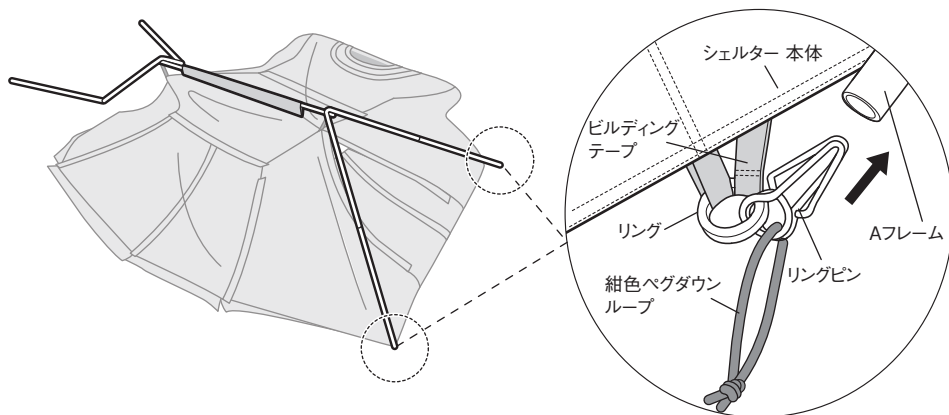
また、強風時は設営を避け、風が収まってからおこなってください。

斜めに荷重がかかり、AフレームやAフレームジョイント、リッジポールが破損するおそれがあります。

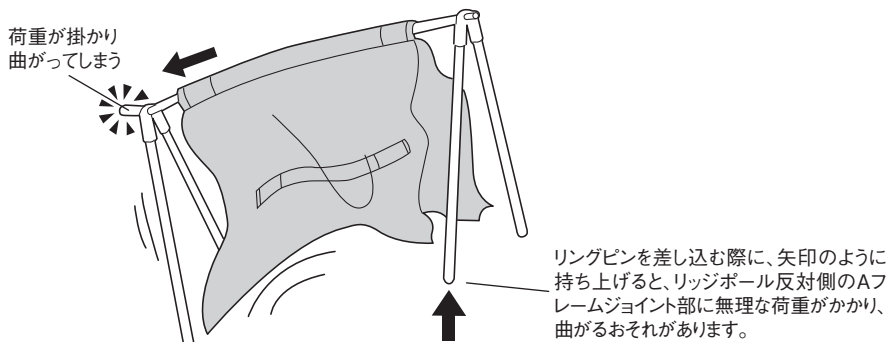
その後、本体に付いているセンターリングを、Aフレームから突き出たリッジポールに掛けてください。このとき調整ベルトを緩めておいてください。



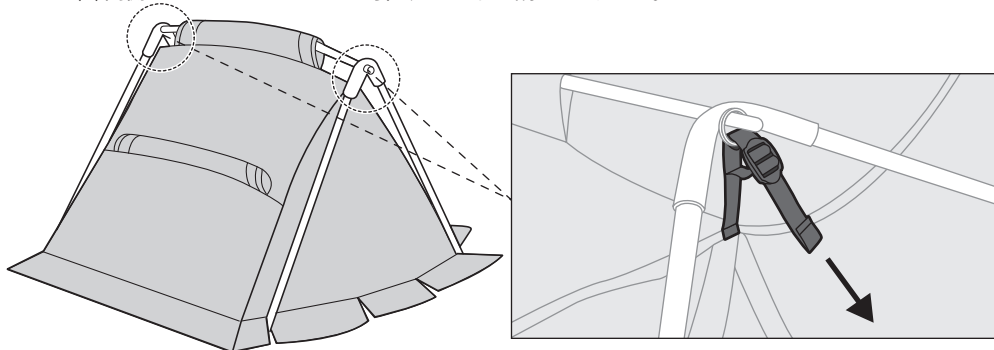
- ③ (1) 片側のAフレームをすべてジョイントし、本体の裾部にあるリングピンの紺色ベグダウンループを持ちAフレームに差し込んでください。  
その後もう一方のAフレームにもピンを差し込み、本体を立ち上げてください。



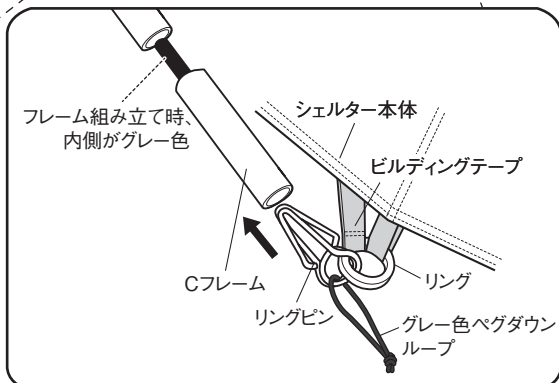
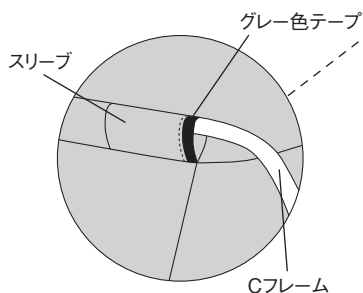
※リングピンをAフレーム端部にいれる際は、フレームが動かないよう端部をしっかり持ち、指を挟まないよう注意してください。  
フレームを持ち上げると反対側に荷重が掛かり、リッジボールの端部を曲げるおそれがあります。  
リッジボールとAフレームジョイントが回転する方向に持ち上げると、スムーズに差し込めます。



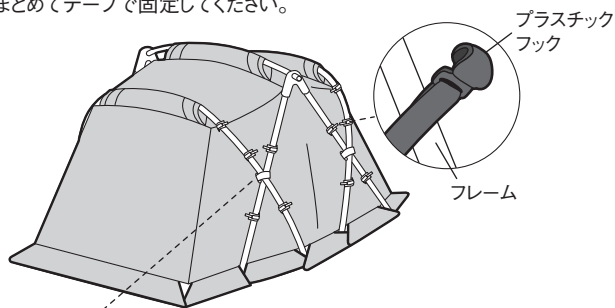
- (2) 両側のセンターリングのテープを引き、テンションを調整してください。



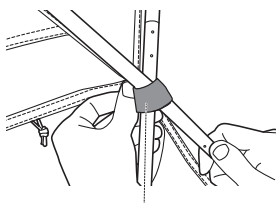
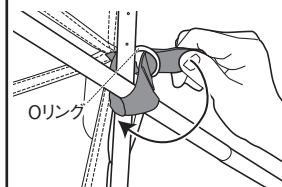
- ④ Cフレームを少しずつ継ぎ、両サイドにあるグレー色テープがついたスリーブに入れてください。  
次に③同様に本体の裾部にあるリングピンのグレー色ベグダウンループを持ちCフレームに差し込んでください。  
片側のCフレームを立てた後、もう一方のCフレームも立ち上げてください。  
※ Cフレームは少しずつ継ぎ、スリーブに通してください。  
CフレームはAフレームの外側を通してください。



- ⑤ AフレームとCフレームに各々上から下へ順々にプラスチックフックを掛けてください。  
フレームクロス部は2本まとめてテープで固定してください。

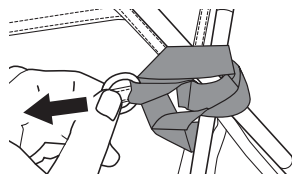


1. フレーム2本をまとめてテープで固定してください。



面ファスナーのオスメスを合わせ固定

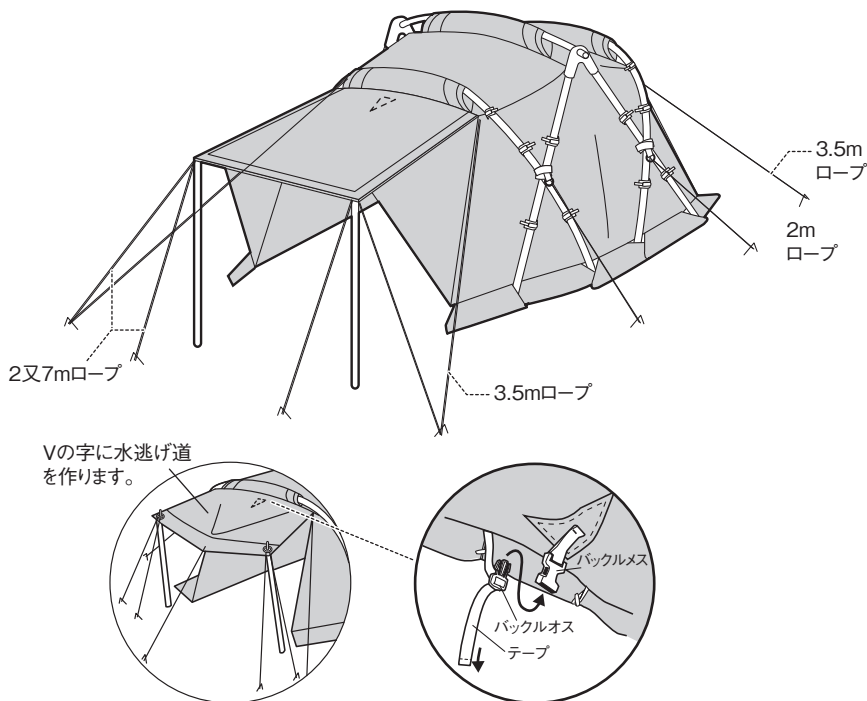
2. テープをフレーム交点に巻き付けた後、テープの間に通して引っ張ってください。



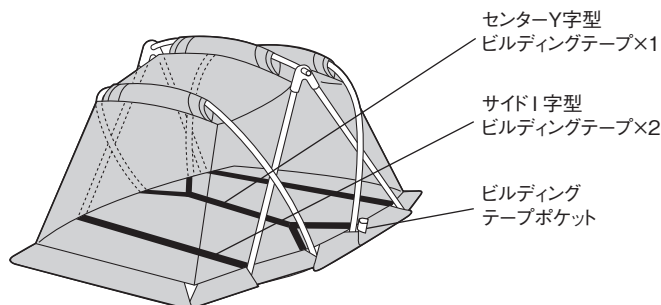
- ⑥ 裾部リングピンについているすべてのペグダウンループにペグを通し、ペグダウンしてください。出入口用ドアパネルを張り出す場合は付属のアップライトポールを2本使い二又ロープで立ち上げてください。シワが残らないようにロープの方向を調整してください。

※張り出したドアパネルは、降雨時に水が溜まりやすくなるので、ポールを斜めに倒し勾配をつけるか、ポールを短く使い、前面中央を大きくV字にロープ(別途ご用意ください。)を下げ、水の逃げ道を作って、溜まらないようにしてください。

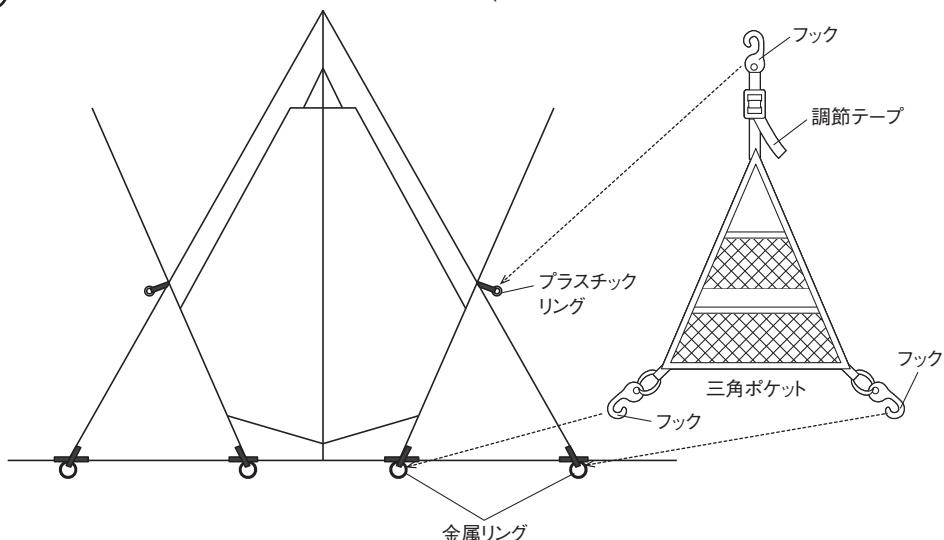
※強風でシェルターを飛ばされたり、フレームを破損させないためにも、しっかりとペグダウンしてください。



- ⑦ 必要に応じてビルディングテープのバックルをはずしてください。設営後にビルディングテープをはずす場合は、必ず室内側にペグダウンをしてテンションを室内側に掛けた後にビルディングテープをはずしてください。外側にペグダウンすると、本体が広がり、撤収時にテープを再接続しにくくなります。はずしたビルディングテープはビルディングテープポケットに入れてください。

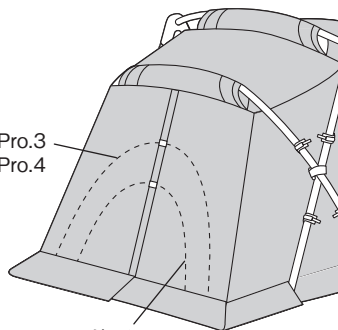


- ⑧ 室内側面下部にある三角パネル4箇所、三角ポケット(×2)を好みの箇所へ取り付けてください。

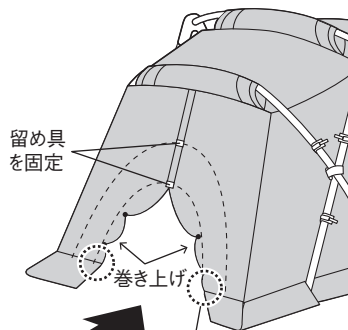


- ⑨ 本体の後ろ側に下記スノーピーク製 TENT を接続できます。お手持ちの対応する TENT の接続ラインに沿ってパネルを巻き上げてください。TENT 接続口に TENT の前室フレームを入れ、接続してください。

アメニティドーム3  
ドッグドーム6  
SD-643 ランドブリーズPro.3  
SD-644 ランドブリーズPro.4  
用の接続ライン

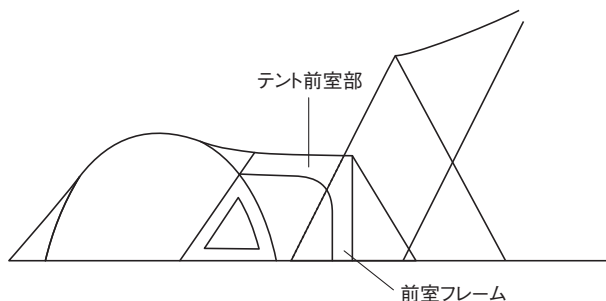


アメニティドーム2  
SD-641 ランドブリーズPro.1  
用の接続ライン



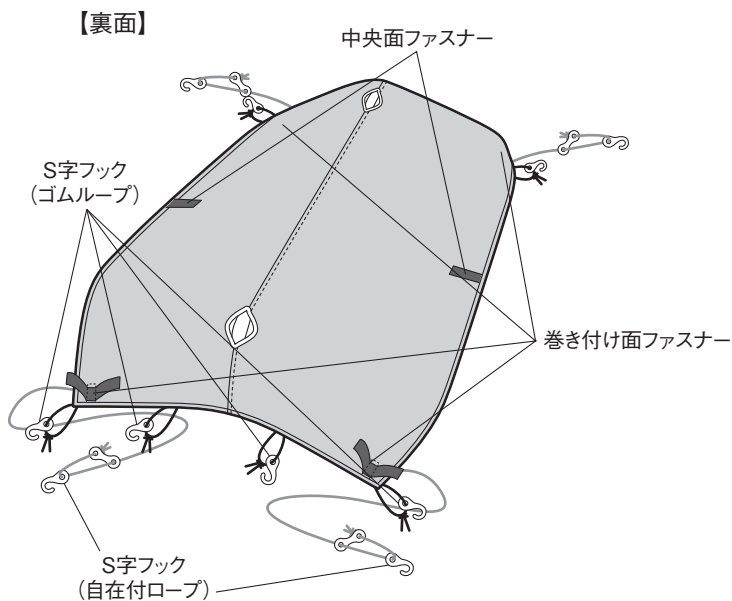
テントを接続

接続する TENT の前室フレーム幅をもとに、TENT 接続口ボトムにあるベグダウンループのベグダウン箇所を選択してください。

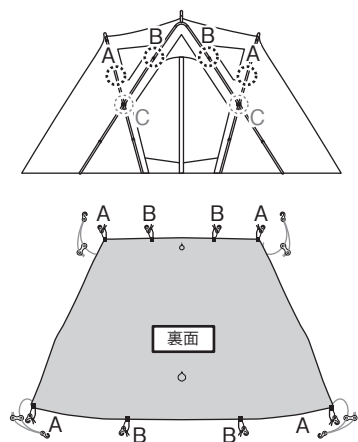


## シールドルーフの取り付け方 設営は2人以上でおこなってください

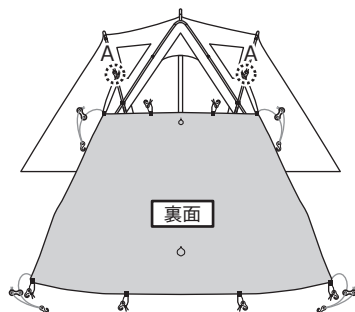
[各部の名称]



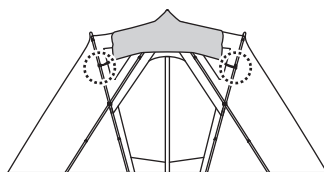
- ① シールドルーフを裏返しに広げ、リビングシェルとの接続箇所を確認してください。  
シールドルーフは面ファスナーが上にくるように広げてください。



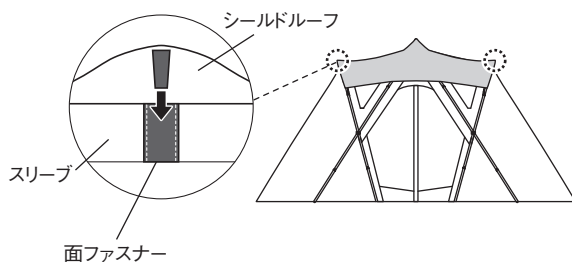
- ② フレーム「A」箇所のOリングに、裏返しシールドルーフ「A」箇所のS字フック(ゴムループ)を引っ掛けてください。



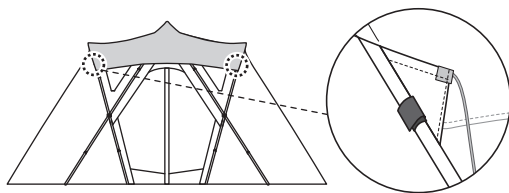
- ③ S字フック(自在付ロープ)を持ち、シールドルーフをひっくり返しながらリビングシェル本体に掛けてください。この時「A」のフックがはずれないように注意してください。



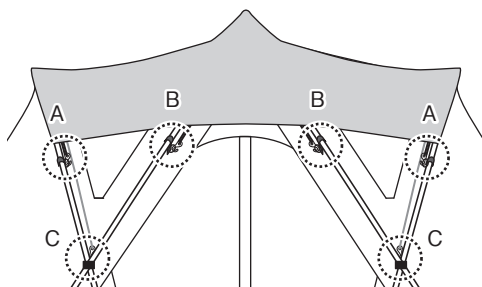
- ④ シールドルーフの中央面ファスナーをスリーブ中央の面ファスナーに取り付けてください。



- ⑤ シールドルーフの四隅にある巻き付け面ファスナーをCフレームに取り付けてください。  
反対側の箇所も同様に巻き付け面ファスナーをCフレームに取り付けてください。

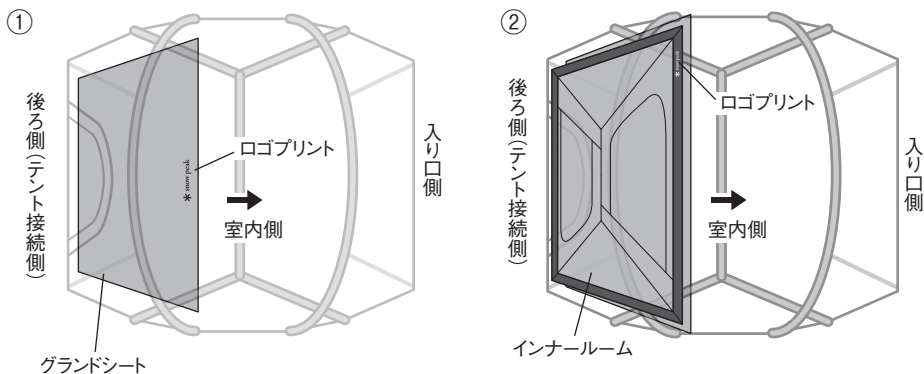


- ⑥ 「A」「B」箇所のS字フック(ゴムループ)を対応するOリングに引っ掛けてください。  
反対側の箇所も同様にフックを引っ掛けます。  
その後、③で使用したS字フック(自在付ロープ)をフレーム交差部「C」につけ、自在を引っ張りテンションをかけてください。

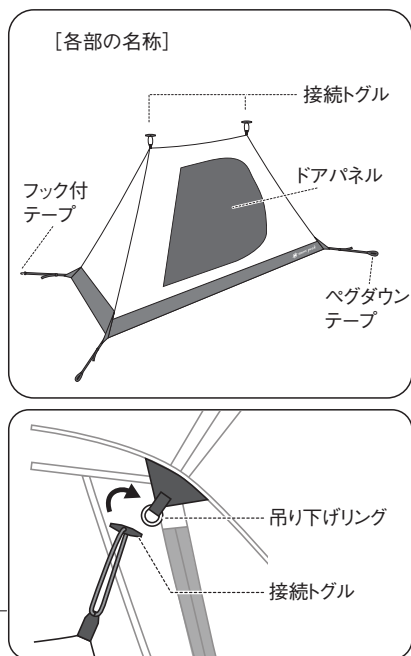
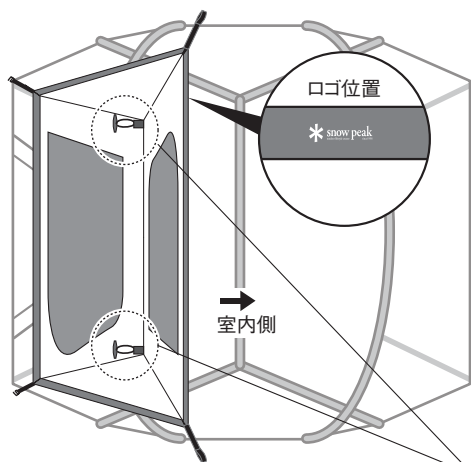


## インナールーム・グランドシートの取り付け方

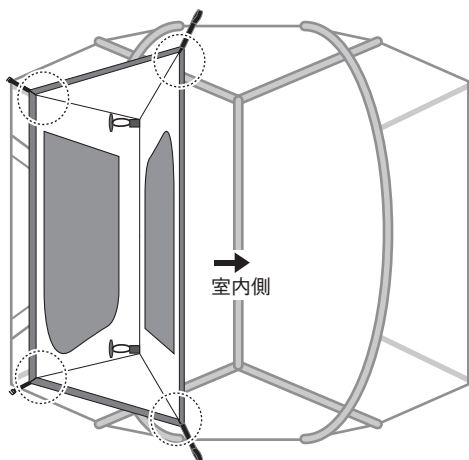
- ① グランドシートの設置  
グランドシートをロゴが上面になり、室内側にくるように広げてください。  
※このとき各コーナーのトグルは、どこにも固定しません。
- ② インナールームの設置  
インナールームの前後を確認してグランドシートの上に広げてください。(ボトムにロゴがプリントされている方が室内側になります。)



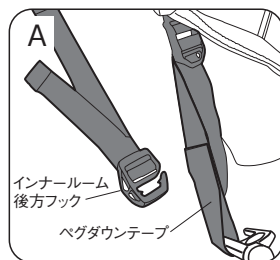
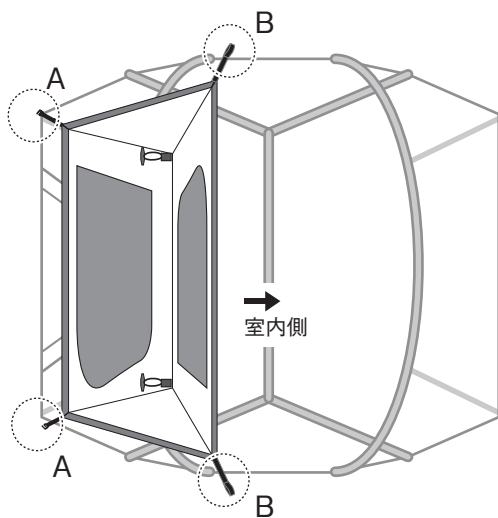
- ③ インナールーム上部の取り付け  
グランドシートの上にインナールームを広げ、インナールームの天井を持ち上げながら接続トグルをシェルターの吊り下げリングに取り付けてください(2箇所)。



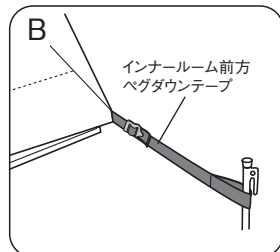
- ④ インナールームとグランドシートの取り付け  
グランドシートの各コーナーにあるトグルをインナールームボトムにあるOリング(4箇所)に取り付けます。



- ⑤ インナールームの下部の取り付け  
インナールームの各コーナーのフックを固定してください。



後方2箇所につくフックは、シェルターのベグダウンテープに引っ掛けてください。



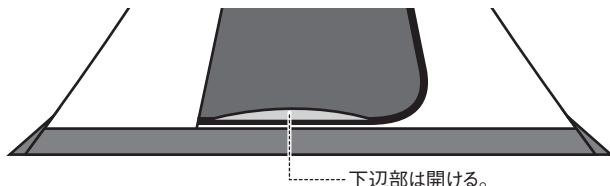
リビング側2箇所につくベグダウンテープは、地面に直接ベグダウンしてください。

## 撤収の手順

撤収は設営と逆の手順でおこないますが、インナールームを取り付けた場合は、必ずインナールームとグランドシート、シールドルーフから取りはずして収納してください。

[インナールーム・グランドシートの収納]

- ① インナールームを撤収する前に必ず中に何も入っていないことを確認してください。折りたたむ際にスムーズに空気を抜くため、前後のドアパネルの下辺部はジッパーを開けてください。設営と逆の順番でシェルターやベグからフックやトグル、テープをはずしてください。

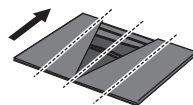
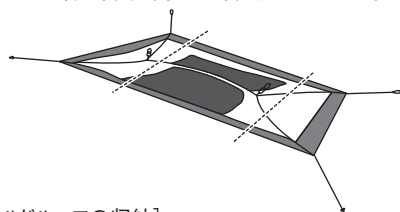


- ② インナールーム底面に取り付けたトグルをすべてはずし、グランドシートを取りはずしてください。

- ③ キャリーバッグの長さに合わせてインナールームを折りたたみ、キャリーバッグに入れてください。グランドシートはグランドシートケースの長さに合わせて折りたたみ、グランドシートケースに入れてください。

左右を中央に向かって折り込んでください。

縦に4つに折り、矢印の方向に巻いてください。



[シールドルーフの収納]

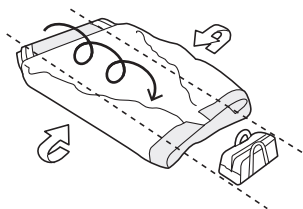
キャリーバッグの長さに合わせて折りたたみ、キャリーバッグに入れてください。

## [シェルターの収納]

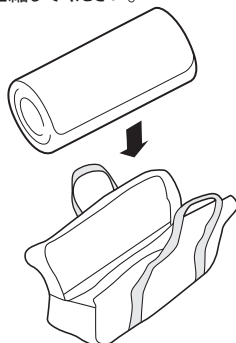
- ① 2人でスリーブの端付近に立って、3本のスリーブをまとめて持ち、下図のように折りたたんで地面に置いてください。



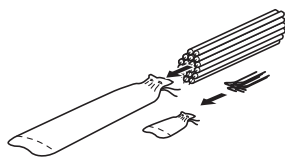
- ② キャリーバッグの長さに合わせて本体を内側に折りたたんでください。



- ③ 本体をキャリーバッグに収納し、コンプレッションベルトで圧縮してください。



- ④ フレームやペグはそれぞれ付属のフレームケース、ペグケースに入れ、キャリーバッグに収納してください。



## 撤収・収納時の注意事項

- 十分に乾燥してから収納してください。
- 強風時は、風が収まるのを待ってから撤収してください。
- インナールームを取り付けた場合や、別のテント/タープなどを併用していた場合は、必ずインナールームや併用していた製品を本体から取りはずしてから撤収をはじめてください。
- シェルターの中に何も入っていないこと、すべてのパネルや窓部のファスナーが閉まっていることを確認してから撤収をはじめてください。
- 撤収の前にすべてのビルディングテープが接続されていることを確認してください。次回設営時にペグダウンしやすくなります。
- フレームをピンからはずす時はフレームがはね返り危険です。フレームが真っすぐになるまで手を離さないでください。
- スリーブからフレームを取り出す際は、必ず押し出しながら取り付けてください。フレームを引きながら取り出すと、スリーブの中で連結部がはずれ、生地を挟んで傷付ける可能性があります。
- フレームは必ず毎回中央付近から折りたたんでください。端から折りたたむとフレーム内部のショックコードの伸びや切れ、フレームの曲がりや折れの原因になります。
- 撤収の前にすべてのビルディングテープが接続されていることを確認してください。次回設営時にペグダウンしやすくなります。
- ペグはすべて抜き、汚れを落としてペグケースに頭を下に向けて収納してください。フレームはすべてフレームケースに収納してください。むき出しの状態での収納すると、本体生地やキャリーバッグなどを傷付けることがあります。

## 結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特にテントやシェルターなどの限られた空間では、中にいる人間の水分が呼吸や汗などにより空気中に放出され水蒸気となり、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のため、こまめに適時換気をおこなってください。

## 撥水・防水性能について

- 本体の生地には撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や耐久性)に若干の差が見られる場合があります。また、ご使用を重ねますと撥水性能が低下する場合があります。性能が低下した場合は市販の撥水スプレーなどを、それらの説明書をよく読みの上でご使用ください。
- 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み、部分的に色が変わることがあります。
- 農業などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証ができなくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

## 紫外線の影響について

- 本体の生地にはUVカット加工を施しています。UVカット加工は、人体にとって有害な紫外線の透過を抑えると共に、生地強度劣化を緩和します。  
※UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。
- シェルターの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合いを超えたものは弊社でも修理できない場合があります。

## メンテナンス・保管

- 長期間ご使用しなかった製品を再度お使いになる際は、製品および内容物をよく点検してください。不明な点がありましたら弊社ユーザーサービスまでご連絡ください。
- 本製品はポリエステル生地を組み合わせ使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食し、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。また、フレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- フレームを収納する際は、中央を意識しながら折りたたんでください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを使い常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系樹脂剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際は、生地の特性上、裏側からリペアテープを貼ってください。なお、ご使用にあたっては、リペアテープの説明書をよくお読みください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合いを超えたものは修理できない場合があります。
- シームテープはPUコーティングが傷まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱をかけ過ぎた場合、生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングと一緒に剥離された場合、修理できなくなる可能性があります。
- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設置してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
- 次回のキャンプに備え、上記の通り十分に保守、点検をしてください。

## こんなときは

Q: キャンプ場でフレームが折れてしまったとき

A: 応急処置として速やかに添え木をあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収してください。

Q: キャンプ場で本体生地が破れてしまったり、穴があいてしまったとき

A: 傷が広がらない為にも、速やかにガムテープなどで両面から貼り合わせるか、市販のリペアキットなどで補修してください。  
市販のリペアキットご使用の際は、リペアキットの注意書きをよくお読みください。

Q: 撥水が衰えてきたとき

A: 撥水加工は、ご使用を重ねますと撥水機能が低下します。撥水が低下してきた場所に撥水スプレーなどを使用してください。スプレーご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。

Q: 生地にカビが発生したとき

A: カビの発生箇所を乾拭きし、アルコールで滅菌処理してください。カビにより生地が着色された場合、取り除くことはできません。無理な除去作業は生地やコーティング劣化の原因となりますのでお避けください。

## 品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期しますが万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店様もしくは弊社または各製品に記載された連絡先にご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合には保証、修理できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

1. 素材の経年劣化による損害など商品の寿命
2. 改造および粗雑な取扱いによる故障
3. 取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障
4. 不測の事故による商品の故障
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障
6. ゴミやサビによる故障
7. 分解したことによる不具合の発生または破損
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合
9. 摩擦によるパーツの変化及びそれによる故障
10. 他社製品との組み合わせによる故障

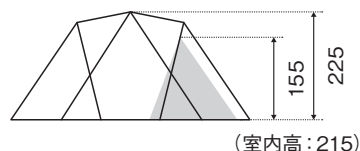
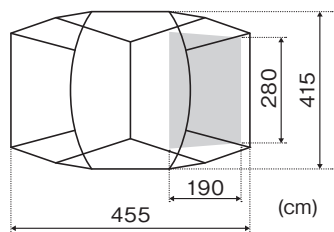
## 修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
  1. 保証対象の場合: 往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
  2. 保証対象以外の場合: 往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

## スペック

- セット内容:本体、シールドルーフ、インナールーム、グランドシート、Aフレーム(×2)、リッジポール(×1)、Cフレーム(×2)、アップライトポール(190cm×2)、三角ポケット(×2)、自在付ロープ(二又7m×2、3.5m×4、2m×4)、フレームケース、ペグケース、グランドシートケース、キャリーバッグ
- 材質:本体/75Dシリコンポリエステルリップストップ、遮光ビグメントPUコーティング耐水圧1,500mmミニマム(ルーフ部)、75Dシリコンポリエステルリップストップ、PUコーティング耐水圧1,500mmミニマム(ウォール部)、シールドルーフ/75Dシリコンポリエステルリップストップ、遮光ビグメントPUコーティング耐水圧1,500mmミニマム、インナールーム/75Dポリエステルリップストップ(ウォール部)、210Dポリエステルオックス、PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム(ボトム部)、グランドシート/210Dポリエステルオックス、PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム、フレーム/A6061
- キャリーバッグサイズ:76×36×38(h)cm
- 重量:約18kg

- 対応人数:2名



不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

**スノーピーク** ☎ **0120-010-660** (9:00~17:00)  
**ユーザーサービス** Email: [userservice@snowpeak.co.jp](mailto:userservice@snowpeak.co.jp)

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456  
 Tel. 0256-46-5858 / Fax. 0256-46-5860  
[www.snowpeak.co.jp](http://www.snowpeak.co.jp)

MADE IN CHINA

Instruction Manual : Ver 1.00

**FES-623**

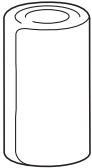
# **Living Shell 2026 EDITION**



Thank you for purchasing this Snow Peak product. This product is a shelter designed for camping. In order to ensure your safety when using this product, please read these instructions carefully before use. Please be sure to keep this document for future reference. If you find anything in the instruction manual that is difficult to understand, or if you find any product defects, stop using this product immediately and contact the dealer where you purchased the product, or contact Snow Peak Customer Service.

Contents

This product's contents are designed to be set up in normal conditions. You can prepare sturdy, long pegs or ropes for setup in a wider range of conditions. Pegs and rope tensioners are consumable items. We recommend that you always carry spares of these items.



Main body



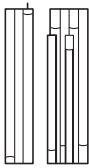
Inner room



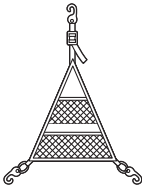
Shield roof



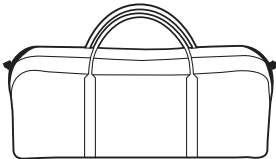
Ground sheet



Ridge pole, A frame x2  
C frame x2, Upright pole x2



Triangular pocket x2



Carry bag



Frame case



Ground sheet case



Peg case

This product does not come with any duralumin pegs. Use your own pegs with this product.

**[Peg requirements]**  
**At least 24 pegs (21 cm or longer)**  
(including pegs for inner room and ground sheet, and 4 pegs for securing entrance door panel)

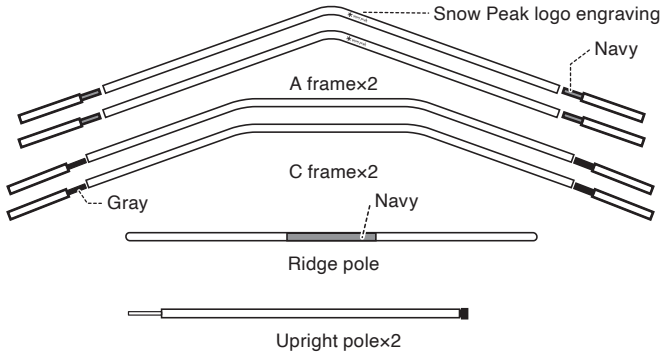


Rope with tensioner  
(forked 7m (23') x2,  
3.5m (11.5') x4, 2m (6.6')x4)



Instruction manual  
(this document)

Frame Composition



**⚠ DANGER:** Misuse could easily result in a serious accident or death.

- Do not use combustion-based heat sources such as lanterns, stoves or heaters, or open flames such as matches, candles, lighters or cigarettes, inside the shelter. The use of such heat or light sources inside a small enclosed space is very dangerous and may result in fire, oxygen deficiency, or carbon monoxide poisoning.
- Do not keep fuel, or flammable items for replenishing the fuel, inside the shelter.



**⚠ WARNING:** Misuse could result in serious injury or death.

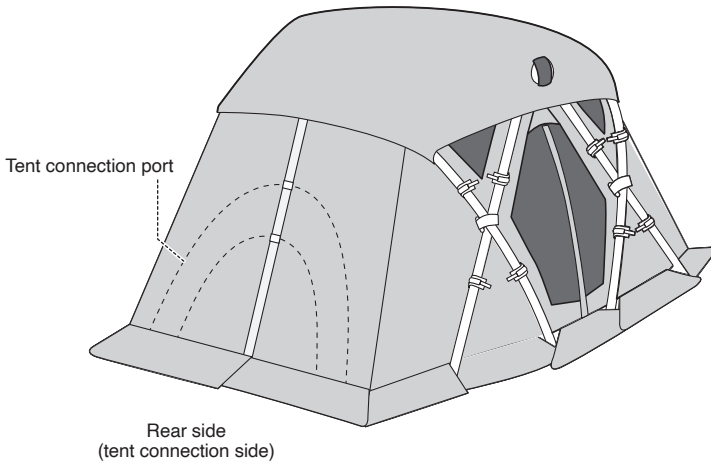
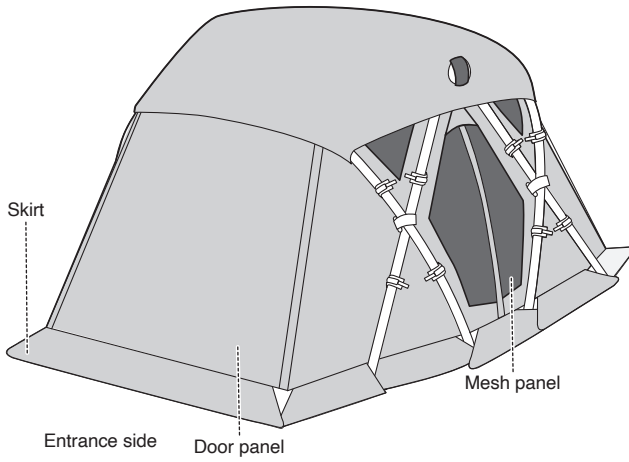
- Before using the product, check each part for defects or other issues. If there are any issues, take the product to the dealer or Snow Peak Customer Service for inspection or repair. Pay close attention to the weather. If extreme weather conditions (e.g. heavy rain, snow, strong wind, or thunder) are forecast, pack up camp immediately and evacuate to a safe place. Under bad weather or strong wind conditions, periodically inspect the pegs and ropes to ensure that they are securely held in place.
- Do not bring hot or heat-producing items into the shelter. Very high temperatures inside the shelter may result in heatstroke or fire.
- Inside the shelter, very high temperatures may cause heatstroke. Pay close attention to the temperature, particularly when children are asleep inside the shelter.
- Choose a flat, well-drained area with firm ground to pitch the shelter. Choose an area where there is no chance of avalanches, landslides, wind gusts, or sudden flooding.
- Please pay attention to the building tape, rope, and pegs at your feet. If you are not careful, you may trip and fall, which may result in an accident or injury.



**⚠ CAUTION:** Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

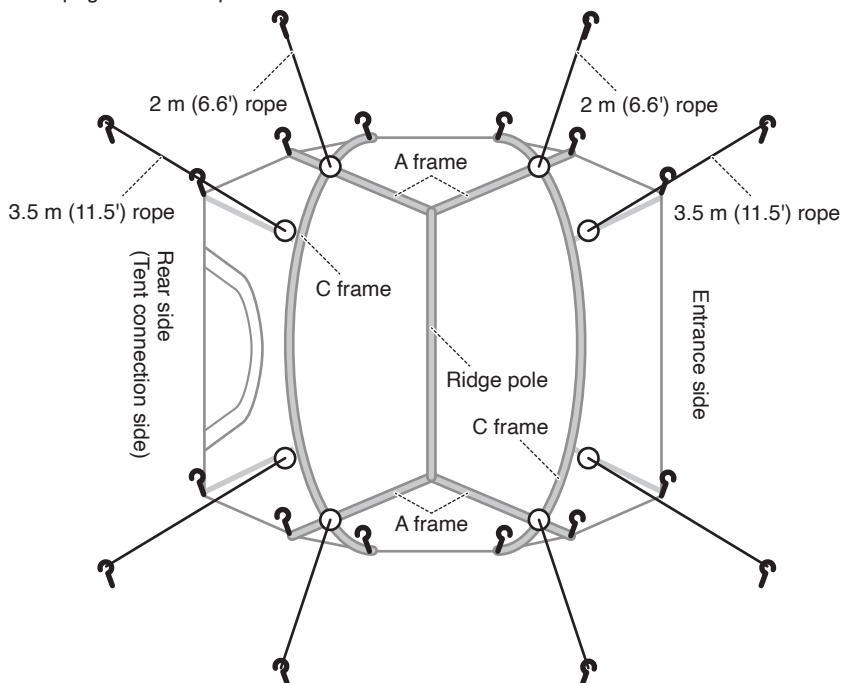
- This product is not for permanent setup. If this product is left in the sun for long periods, the material may fade in color or deteriorate and lose strength. Do not use this product as a permanent setup.
- Sunlight can cause the surface of the shelter to heat up, potentially causing low-temperature burns. Be especially cautious when handling.
- Do not assemble or use the shelter close to a bonfire, fireworks, etc. Flying sparks can create holes in the fabric.
- When assembling and disassembling the shelter, firmly hold the shelter to prevent it from being blown away by the wind. Ensure that it is safe in your surrounding area to handle the frames before handling.
- Firmly secure the shelter with the pegs, rope, etc.
- This product may break if you pull the fabric too much.
- For this product to withstand wind and rain, it is important to appropriately tighten the ropes. When using this product, be sure to tighten all the ropes according to the guidelines stated in this instruction manual.
- When assembling and disassembling this product, be sure to hold the frame firmly. Otherwise, the edge of the frame may snap back and cause an accident. Ensure that there are no people nearby and that it is otherwise safe in your surrounding area to handle the frames before assembly or disassembly.
- A waterproofing treatment using seam tape has been applied to the seams on this product. However, there are some areas where seam tape cannot be applied due to manufacturing or structural reasons, such as the door panels, window zippers, and areas where tape is sewn in. This product can withstand moderate rain conditions. However, in prolonged heavy rain or wind-driven rain, water may seep through the seams. This product is not seam-sealed at the time of purchase. Before use, please apply a commercially available seam sealer along both the inside and outside of the seams.
- The inner room has a loop for hanging small items. Please note that this loop is only suitable for hanging items weighing less than 1 kg.

## Name of the Parts



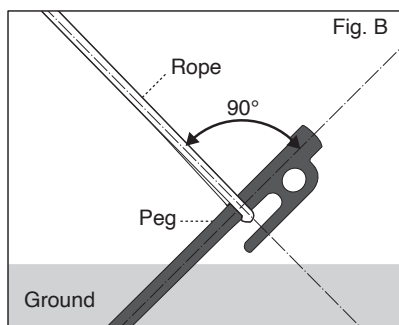
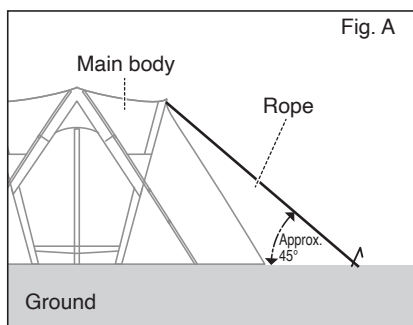
## Rope with Rope Tensioner and Peg Down Positions

Secure and peg down the ropes as shown below.



The ideal position to insert the pegs is a position where the rope is at an angle of  $45^\circ$  to the ground when set up. [Fig. A]

Insert the peg at an angle of  $90^\circ$  to the rope. [Fig. B]



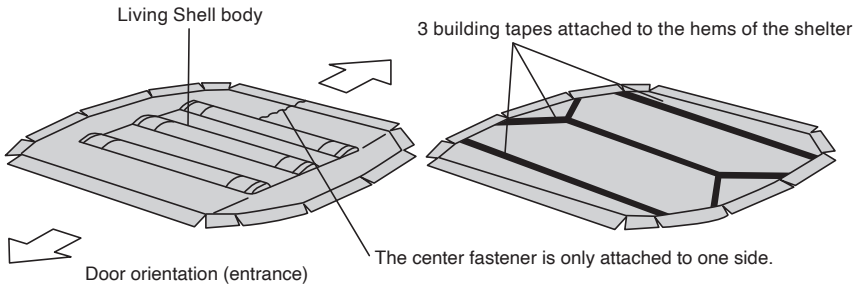
## Before Using this Product for the First Time

- Please check that all the accessory items are included before attempting to assemble the product. Practice assembling and handling the product in a safe location before using it while camping. In the unlikely event that there is a problem or a missing accessory, please contact the dealer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service.

**Setup Procedure:** Make sure that two or more people take part in the setup for safety.

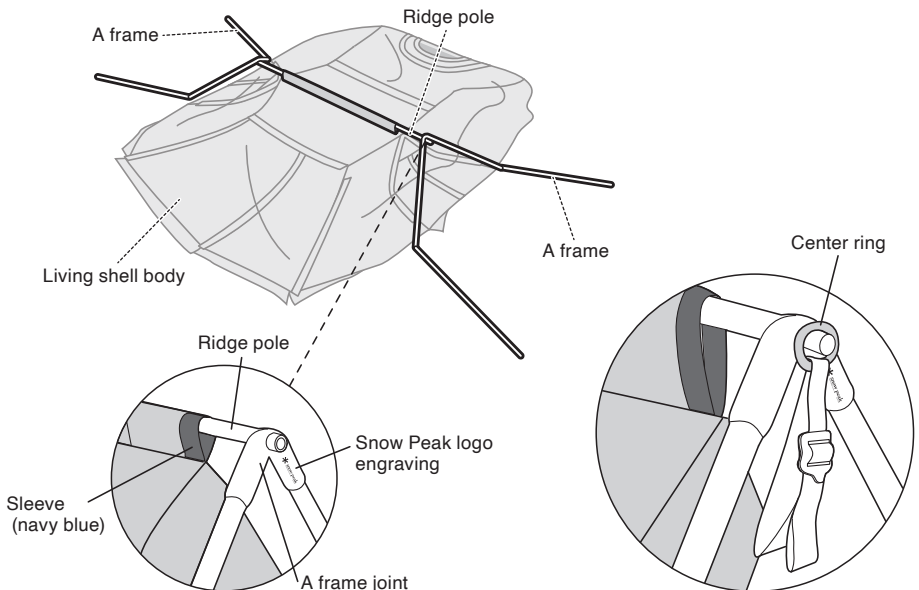
Follow the instructions below to practice setting up and disassembling this product several times and check to ensure all the accessories are functioning before camping. Excessive setup and disassembly may damage the body or poles, potentially resulting in an accident. Please read this manual carefully before use.

- ① Unfold the main body on a flat surface to set up the product. When doing so, determine the orientation of the shelter by taking the orientation of the door panel and the tent connection port into account.

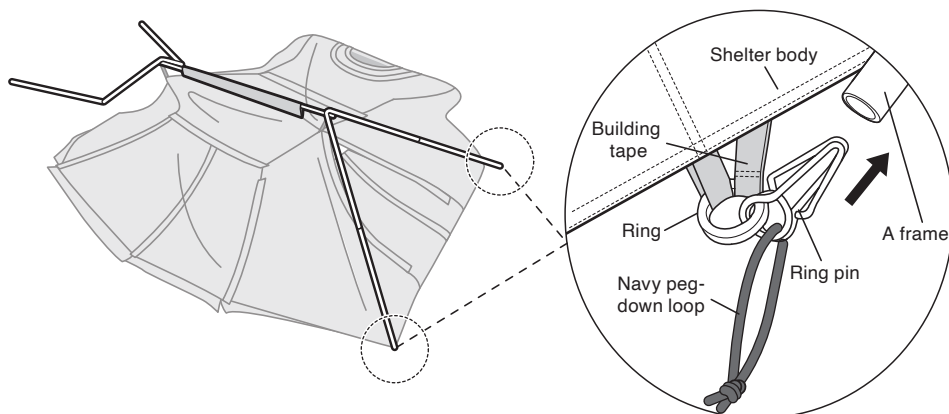


- ② Insert the ridge pole with the navy-colored center section into the sleeve marked with navy tape. Then, insert the ridge pole so that the Snow Peak logo mark on the A frame joint faces outward. Make sure that the end of the ridge pole is fully inserted into the A frame joint.
- \*At this point, do not fully assemble the A frame. Hook the center ring at about half height before completing the assembly. Do not lift the frame more than necessary.
- If there is strong wind, wait until the wind subsides before setting up the product. Uneven weight distribution may damage the A frame, A frame joints, or ridge pole.

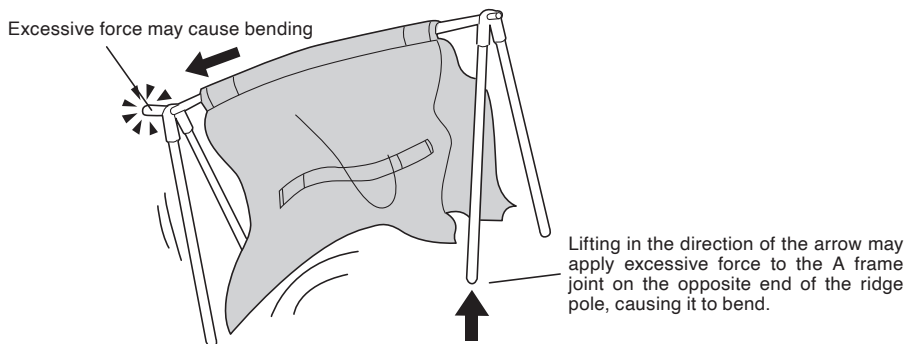
Then, attach the center ring on the main body to the ridge pole protruding from the A frame. Loosen the adjustment belt beforehand.



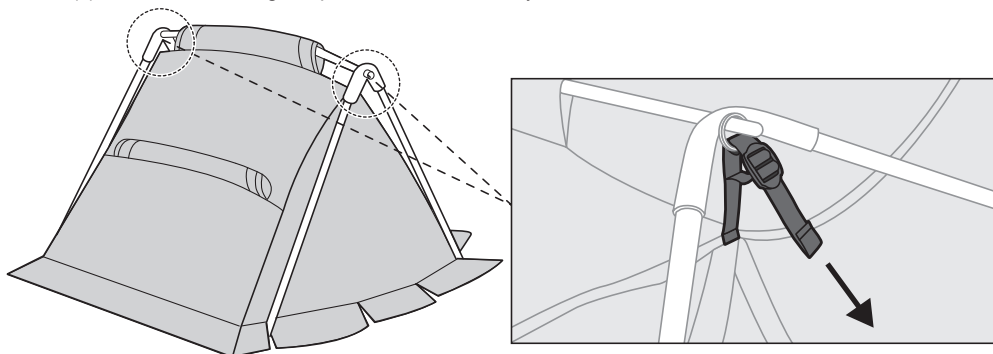
- 3** (1) Assemble all the A frame poles on one side of the product.  
Hold the navy peg-down loop at the hem of the main body and insert the ring pin into the A frame.  
Repeat on the A frame on the other side, then raise the main body.



When inserting the ring pin into the A frame, hold the end of the pole firmly to keep it from moving and avoid pinching your fingers. Do not lift the pole straight up, as this may place excessive load on the opposite end of the ridge pole and bend the ridge pole. Lift the pole in a rotating motion so that the ridge pole and A frame joint rotate smoothly.



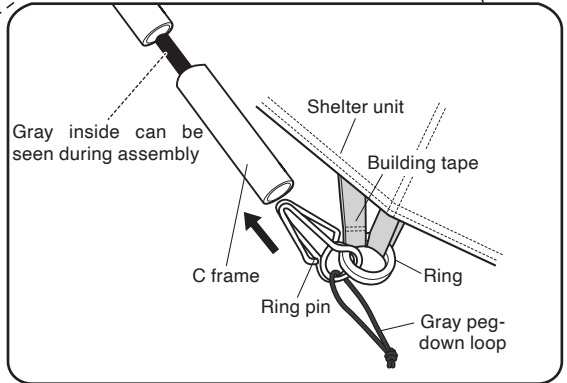
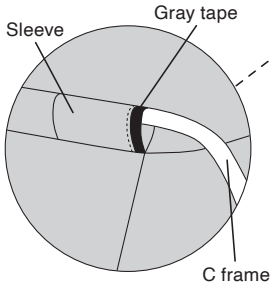
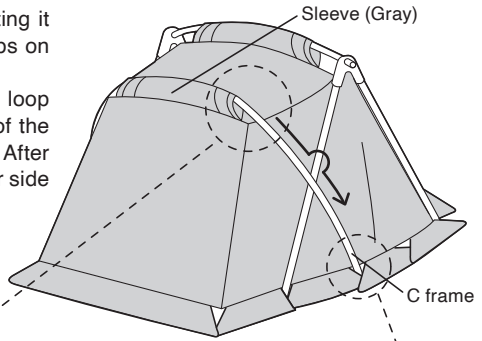
- (2) Pull the center ring straps on both sides to adjust the tension.



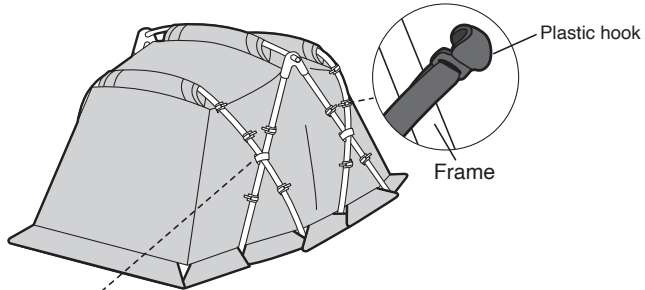
- ④ Gradually assemble the C frame while inserting it into the sleeves with the Gray peg-down loops on both sides.

Next, as in step ③, hold the gray peg-down loop attached to the ring pin at the bottom edge of the shelter and insert the ring pin into the C frame. After raising one side of the C frame, raise the other side as well.

\*Gradually connect the C frame while passing it through the sleeves. Route the C frame along the outside of the A frame.

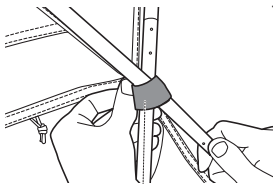
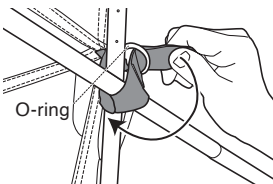


- ⑤ Attach the plastic hooks to the A frame and C frame in order from top to bottom. Secure the frame cross section by fastening the two poles together with the hook-and-loop strap.

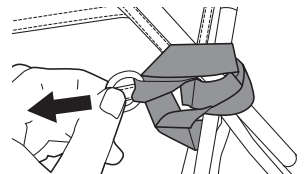


1. Secure the two frame poles together with the tape.

2. Wrap the tape around the frame intersection, pass the end of the tape through a loop in the tape, and pull it tight.



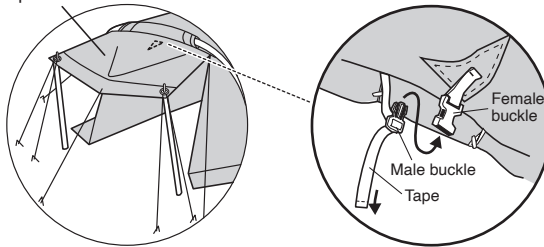
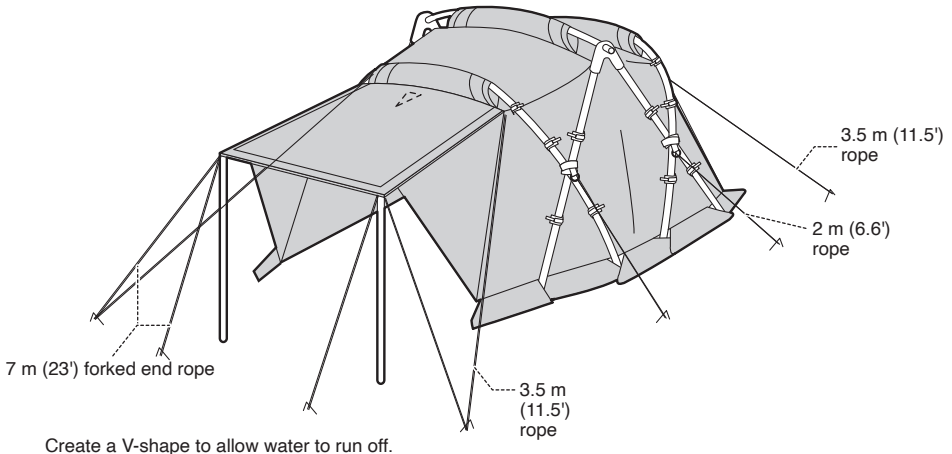
Fasten the hook-and-loop surfaces together to secure.



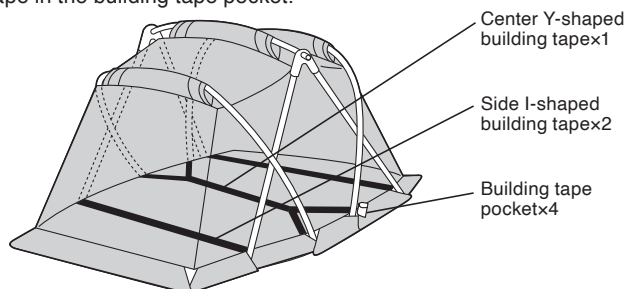
- ⑥ Pass the pegs through all peg-down loops attached to the ring pins at the hem, and secure them firmly to the ground. When setting up the entrance door panel, use the two included upright poles to raise the panel using the forked rope. Adjust the rope to prevent wrinkles.

\*When raised, the door panel may collect water in rainy conditions. Tilt the poles diagonally to create a slope, or use shorter poles and lower the rope into a large V-shape at the center front (rope not included) to allow water to run off and prevent pooling.

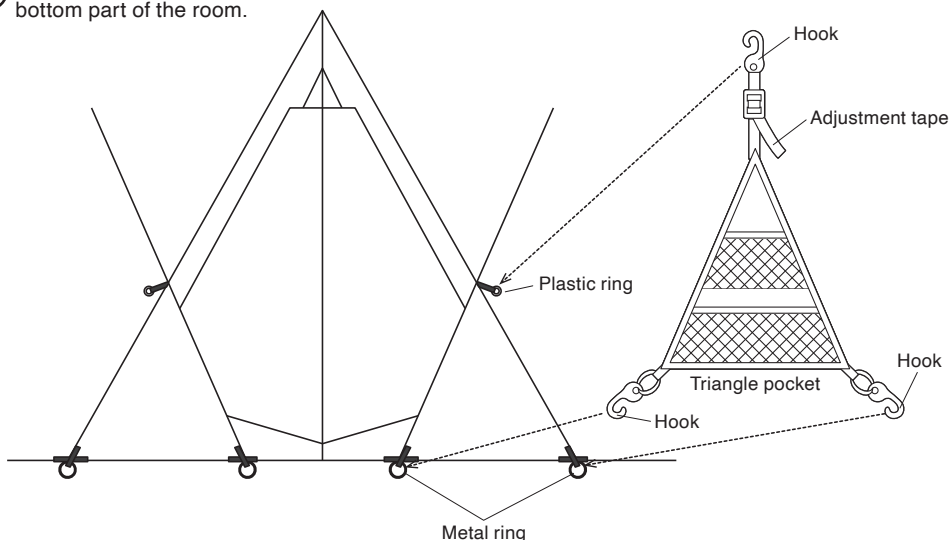
\*Make sure to peg the shelter down securely to prevent it from being blown away or the frame from being damaged in strong winds.



- ⑦ Remove the building tape buckles as necessary. When removing the building tape after setup, always peg the shelter down on the inside of the shelter and apply tension inward before removing the building tape. Pegging the shelter down on the outside of the shelter may cause the shelter to spread outward, making it difficult to reconnect the tape when taking down the shelter. Store the removed building tape in the building tape pocket.

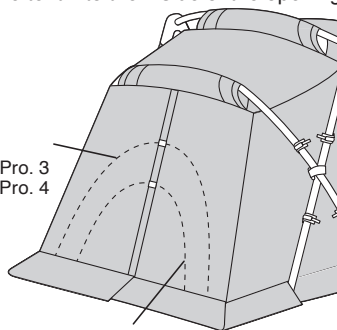


- 8 Attach the triangular pockets (x2) to your desired locations on the four triangular panels at the bottom part of the room.



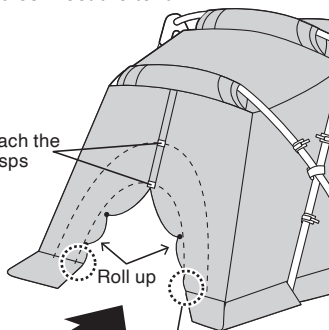
- 9 A Snow Peak tent can be connected to the rear side of this product. Locate the connection line on your Snow Peak tent using the illustration below and roll up the panel along the line. Insert the vestibule frame of the tent into the inside of the opening and connect the tent.

Connection line for  
 Amenity Dome 3  
 Dock Dome Pro. 6  
 SD-643 Land Breeze Pro. 3  
 SD-644 Land Breeze Pro. 4



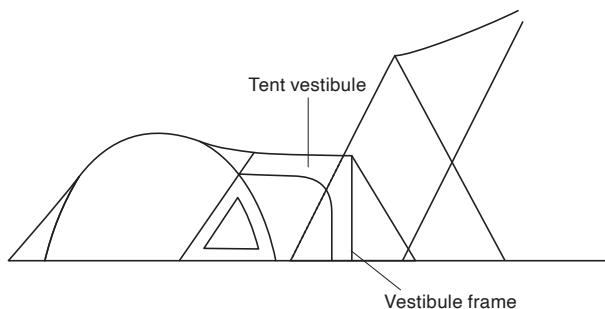
Connection line for  
 Amenity Dome 2  
 SD-641 Land Breeze Pro. 1

Attach the  
 clasps

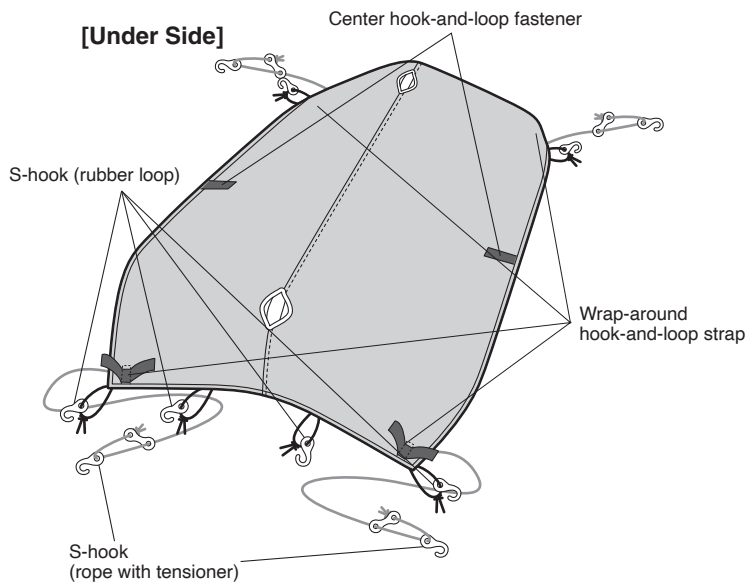


Connect the tent

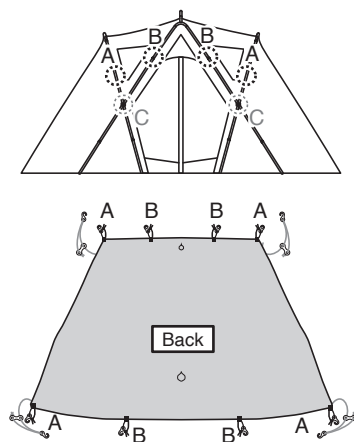
Choose peg-down points at  
 the bottom of the connection  
 port based on the width of  
 the vestibule frame of the  
 tent to be connected.



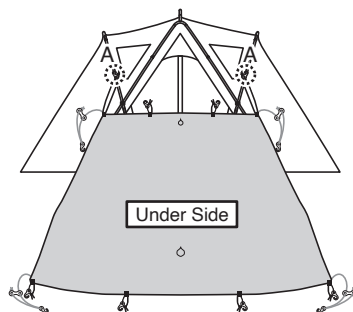
**[Parts]**



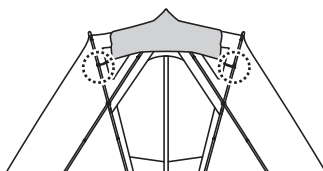
- 1 Open the shield roof inside out and check the connection points with the Living Shell. Unfold the shield roof so that the hook-and-loop fasteners are on top.



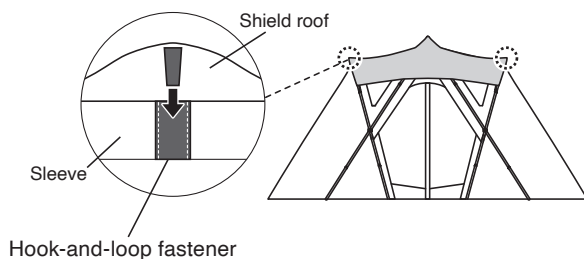
- ② Hook the S-hook (rubber loop) at point “A” on the shield roof to the O-ring on pole “A”.



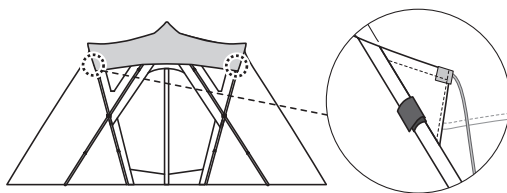
- ③ Take the S-hook (rope with tensioner) and hook it onto the Living Shell while turning the shield roof over.  
Make sure the “A” hook does not come off.



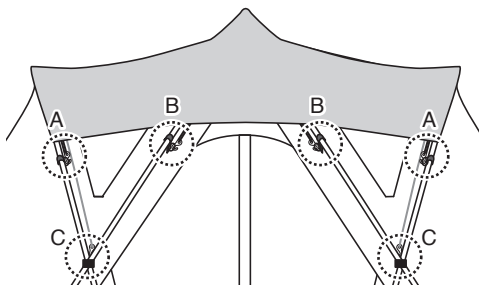
- ④ Attach the center fastener on the shield roof to the center hook-and-loop fastener fastener on the sleeve.



- ⑤ Attach the wrap-around hook-and-loop fasteners at the four corners of the shield roof to the C frame. Attach the other side in the same way.

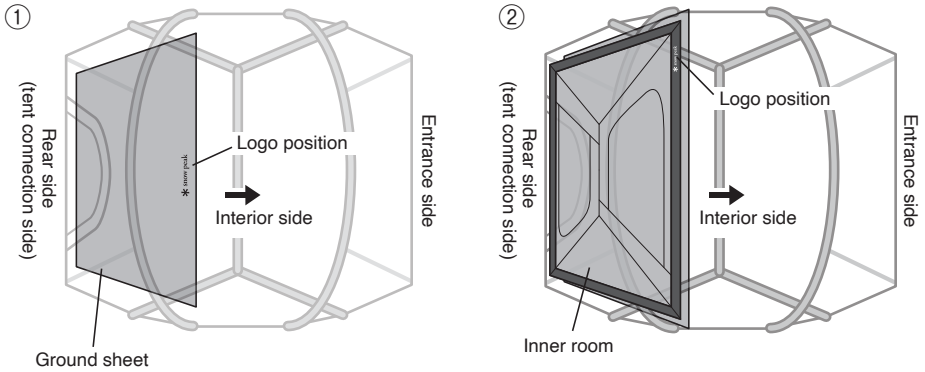


- ⑥ Hook the S-hooks (rubber loops) at points "A" and "B" to the corresponding O-rings. Hook the other side in the same way. Next, attach the S-hooks (rope with tensioner) from step ③ to point "C" at the frame intersection, and pull the tensioner to apply tension.

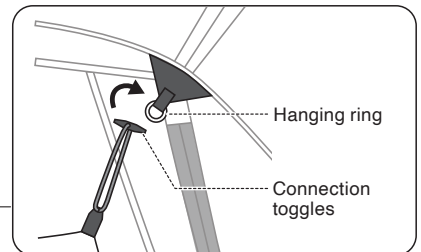
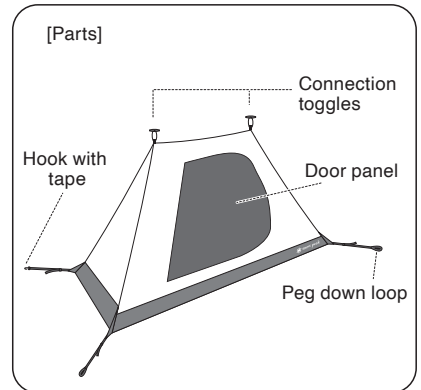
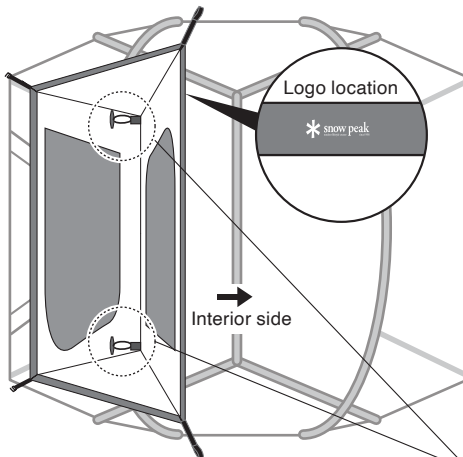


## Attaching the Ground Sheet and Inner Room

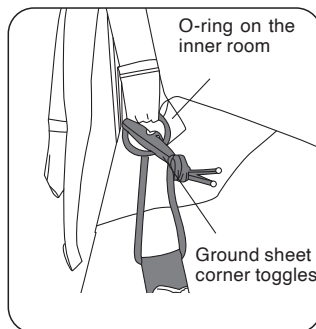
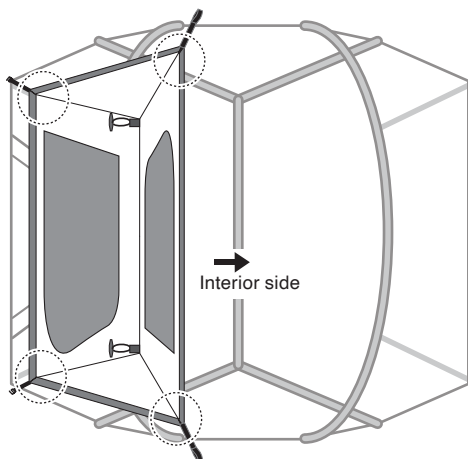
- ① **Installing the ground sheet**  
Place the ground sheet with the logo facing up and toward the interior.  
\*Do not attach the toggles at each corner at this stage.
- ② **Installing the inner room**  
Identify the front and back of the inner room, then place the inner room over the ground sheet.  
(The side with the logo printed at the bottom is the interior side.)



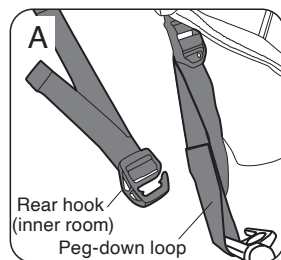
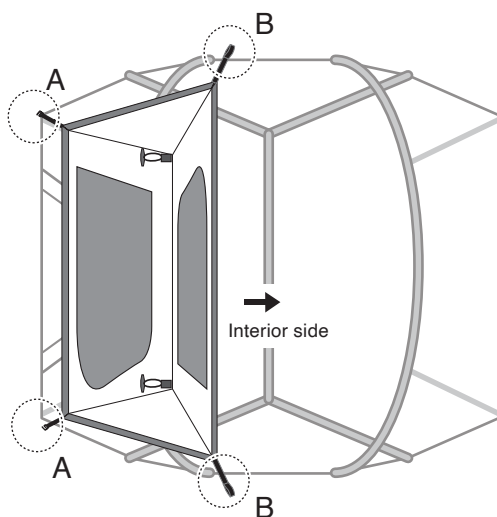
- ③ **Attaching the top of the inner room**  
Place the inner room over the ground sheet, then lift the top of the inner room and attach the connection toggles to the hanging rings of the shelter (2 locations).



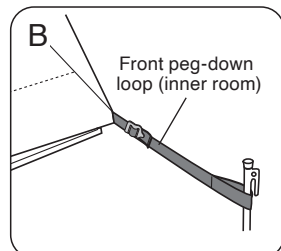
- ④ Attaching the inner room and ground sheet**  
Attach the toggles at each corner of the ground sheet to the O-rings on the inner room (4 locations).



- ⑤ Attaching the bottom of the inner room**  
Attach the hooks at each corner of the inner room to the designated attachment points.



Hook the inner room rear hooks onto the shelter's pegging tape (2 locations).



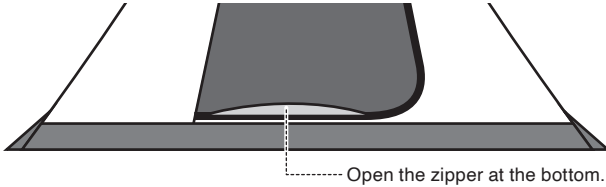
Peg down the peg-down tapes on the Living Shell side directly to the ground (2 locations).

## Disassembly Procedure

Follow the setup procedure in reverse to take down the shelter. If the inner room is attached, be sure to remove the inner room, ground sheet, and roof sheet first before storage.

[Storing the Inner Room and Ground Sheet]

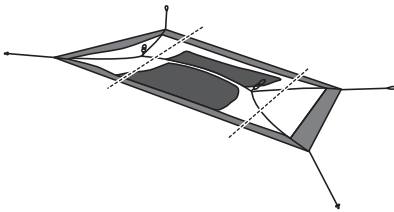
- 1 Before removing the inner room, make sure there is nothing left inside. When folding the inner room, open the zippers at the bottom of the front of the inner room and the rear door panels to allow air to escape smoothly. Remove the hooks, toggles, and tapes from the shelter and pegs in the reverse order of setup.



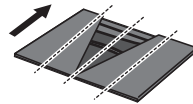
- 2 Remove all the toggles attached to the bottom of the inner room, then remove the ground sheet.

- 3 Fold the inner room to fit the length of the carry bag, then put it into the carry bag. Fold the ground sheet to fit the length of the ground sheet case, then put it into the ground sheet case.

Fold both sides inward toward the center.



Fold into four sections lengthwise, then roll it up the direction of the arrow.



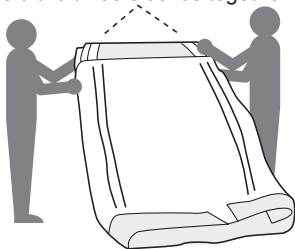
[Storing the Shield Roof]

Fold the shield roof to fit the length of the carry bag, then put it into the carry bag.

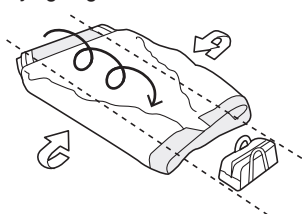
### [Storing the Shelter]

- 1 One person stands at each end of the sleeves, holding all three sleeves together. Fold the shelter as shown in the illustration and place it on the ground.

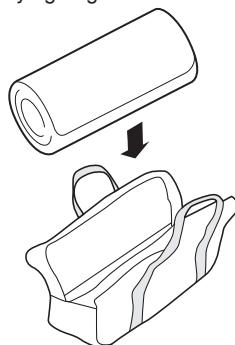
Hold the three sleeves together.



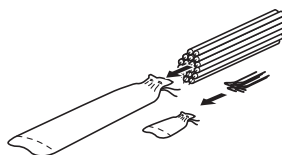
- 2 Fold the shelter unit inward to fit the length of the carrying bag.



- 3 Wind the compression belt tightly around the folded shelter and put the shelter into the carrying bag.



- 4 Store the frames and pegs in the supplied frame case and peg case, respectively, before putting them in the carrying bag.



### Precautions for Storage

- Make sure that the product is sufficiently dry before storing it.
- If the wind is strong, wait for it to subside before disassembling the tent.
- If you have attached an inner room, be sure to remove the inner room or any other products from the shelter before disassembly.
- Ensure nothing is inside the shelter and that all the panels and windows are closed.
- Ensure that all the belts are connected before taking down the shelter. Connecting the belts makes it easier to peg down the shelter the next time you set it up.
- When removing the frame from the ring pins, there is the risk of the frame snapping back into its original shape. Do not let go of the frame until it has returned to its straight shape.
- When removing the frame from the sleeve, be sure to push it out of the sleeve.
  - \* If you pull the frame out of the sleeve, the connecting part may come off inside the sleeve, which may damage the fabric.
- Fold the frame poles in half each time. If you fold the main poles near the ends, the shock cord inside the pole may stretch or break, causing the frame to bend or break.
- Ensure that all the belts are connected before taking down the shelter. Connecting the belts makes it easier to peg down the shelter the next time you set it up.
- Remove all the pegs, clean them, and store them in the peg case with the heads facing down. Store all the frames inside the frame case. If the frames are exposed, they may damage the fabric or the carry bag.

## Regarding Condensation

Mist is a collection of water droplets suspended in the air that turns into condensation in rapidly falling temperatures.

In smaller spaces such as the inside of a tent or shelter, water vapor concentration is higher than in an ordinary room and frequently results in more condensation. Depending on the surrounding conditions, it may be impossible to avoid condensation completely, even with waterproof materials. To reduce condensation, allow steady ventilation while the shelter is in use.

## Water-Repellent and Waterproof Functions

- The fabrics of the main body are treated with a high-quality, water-repellent finish. However, the level of water-repellent ability and durability may vary slightly according to the characteristics of each material type. The water-repellent finish will lose its effectiveness after repeated use. When the water-repellent ability decreases, please use a commercially available water-repellent spray. When using such sprays, please follow the product's instructions.
- While this product is made of highly waterproof fabric, rainwater may soak into it and change the color of the fabric that comes in contact with puddles on the ground for long periods of time.
- The PU coating may become damaged by agricultural chemicals, which cause an excessive drop in the water pressure resistance. Please note that the product will not be covered by the warranty if it is damaged by agricultural chemicals.
- The logo may come off the product as an effect of the water repellent agent.

## Regarding the Effect of Ultraviolet Rays

- UV protection treatment has been applied to the product fabric.  
\*This UV protection treatment does not completely shield humans from harmful ultraviolet rays or stop the deterioration of the strength of the material.
- If the shelter is left in the sun for long periods of time, the colors of the materials may fade, or the fabric may deteriorate and lose its strength. Do not leave the shelter set up permanently.
- If the material deteriorates due to ultraviolet ray exposure and is badly damaged, it may become irreparable.

## Maintenance & Storage

- When using the product again after not using it for a long period of time, inspect the product and the included items before using. If you have any questions, please contact Snow Peak Customer Service.
- A polyester fabric blend is used for this product. Considering the material characteristics, we have adopted processing and color patterns that will result in less color migration. However, depending on storage conditions, slight color migration may occur. Do not store the product while it is wet.
- Before storing, the product should be cleaned and dried. If the product is stored while wet, mold can grow and cause bad odors, color migration, and material deterioration. Dry the product sufficiently in a well-ventilated, shaded area and clean the surface using a soft brush before storing.
- Clean and dry the surface of the frames before storing. If stored when wet, corrosion may occur, resulting in strength deterioration. Keep the joints clean and apply a small amount of silicone lubricant to them. Applying an excessive amount of lubricant will stain the fabric. Ensure that the cords inside the poles are not pulled unnecessarily.
- When storing the frames, try to fold the frame poles in half.
- Please store in a well-ventilated area away from direct sunlight, high temperatures, and humidity.
- Using a zipper when it is covered with mud, sand or dust may result in wear or damage to the zipper. Clean the zipper with a brush before use. Apply a small amount of silicone lubricant to the zipper regularly to ensure smooth movement. Applying an excessive amount of lubricant will stain the fabric.
- Small areas of fabric damage can be repaired with commercially available repair tape. When using repair tape for repairs, apply the tape from the back side of the fabric. Please read the repair tape instructions carefully before use.
- Depending on the conditions during use, a large area of the material may deteriorate, lose its durability, and become irreparable.

- Seam tape was bonded to the product at a temperature setting that does not damage the PU coating. However, this seam tape may peel off as the product is used repeatedly. If the seam tape is coming off, apply a clothing iron in the low heat setting to the peeling sections only to bond the tape back onto the product. Be aware that excessive heat will discolor or accelerate the deterioration of the fabric. Do not forcibly peel off the seam tape. If the PU coating peels off completely, the product may become irreparable.
- Sap cannot be easily removed if it gets on the product. Do not set up this product under trees that may drop sap. Forcibly removing sap using a solvent, etc.may damage the fabric or the coating on the fabric.
- To maximize the longevity of this product, regularly inspect and maintain it (including all the accessories such as the pegs).

## FAQ

Q: What should I do when a pole breaks or bends during camping?

A: As an emergency procedure, commercially available repair pipe to the pole and secure it with plastic tape, or pack up camp.

Q: What should I do when the shelter tears or gets a hole?

A: Paste duct tape or other durable tape from both sides of the fabric as soon as possible in order to prevent further damage, or use a generic repair kit to repair the damage. Before using a generic repair kit, be sure to read the Maintenance & Storage section in this document as well as the instructions for the repair kit carefully.

Q: What should I do when the water-repelling performance deteriorates?

A: Water-repelling performance will decrease after repeated use. Use a water-repellent spray on the part where the water-repelling performance has deteriorated. Before spraying the material, be sure to read the instructions for the spray carefully.

Q: What should I do when I find mold growth on the material?

A: Wipe the part with mold growth using a dry cloth, and then use alcohol to disinfect the area. You cannot remove any discoloration that may occur from mold growth. Inadequate removal attempts can lead to deteriorating the fabric or coating.

## Warranty

Snow Peak has taken all possible measures to ensure every product is durable and functions correctly. If you find any product defects, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service. If there are apparent defects in the product's manufacturing, the defective product will be repaired or exchanged free of charge. In other cases, Snow Peak will repair the product for an appropriate fee. The decision to repair or replace the product will be at our discretion. Snow Peak will not repair the product for any damage that occurred due to the following:

- 1.Material deterioration caused by age.
- 2.Damage caused by modifications or rough handling.
- 3.Damage caused by inappropriate use not mentioned in the instruction manual.
- 4.Damage caused by unexpected accidents.
- 5.Any damage other than defects in the manufacturing process.
- 6.Damage caused by dust or rust.
- 7.Damage and defects caused by dismantling the product.
- 8.Damage and defects caused by dropping, jolting or other shocks .
- 9.Deterioration or failure of parts due to friction.
- 10.Damage caused by the use of the product in combination with another manufacturer's products.

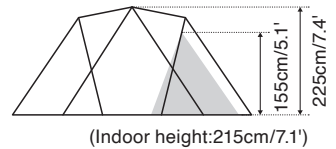
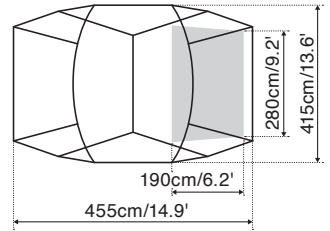
## Repair

- If professional repairs are required, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service.
- When you request repairs, please make sure that the product is dry and clean.
- Please attach a memo or a tag indicating the necessary repair and please write details of how and when the damage occurred.
- Transportation and repair costs are determined as follows.
  - 1.Within warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by Snow Peak.
  - 2.Outside warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by the customer.

## Specifications

- **Contents:** Main Body, Shield Roof, Inner Room, Ground Sheet, A Frame (x2), Ridge Pole (x1), C Frame (x2), Upright Poles (190cm / 74.8"x2), Triangular Pockets (x2), Rope with Tensioner (Forked 7m / 23'x2, 3.5m / 11.5'x4, 2m / 6.6'x4), Frame Case, Peg Case, Ground Sheet Case, Carrying Bag
- **Materials:** Main Body / 75D Silicone Polyester Ripstop, Pigment PU Coating, Waterproof Rating: 1,500mm minimum (Roof), 75D Silicone Polyester Ripstop, PU Coating, Waterproof Rating: 1,500mm minimum (Wall), Shield Roof / 75D Silicone Polyester Ripstop, Pigment PU Coating, Waterproof Rating: 1,500mm minimum, Inner Room / 75D Polyester Ripstop (Wall), 210D Polyester Oxford, PU Coating, Waterproof Rating: 1,800mm minimum (Bottom), Ground Sheet / 210D Polyester Oxford, PU Coating, Waterproof Rating: 1,800mm minimum, Frame / A6061
- **Storage size:** 76x36x38(h)cm / 29.9"x14.2"x15.0"(h)
- **Weight:** Approx. 18kg / 39.7lbs

- **Capacity:** 2persons



### Snow Peak USA, Inc.

404 NW 23rd Avenue, Portland, Oregon 97210, USA  
 Tel. +1 (888) 424-4916 / Instagram. @snowpeakusa  
 Email. info@snowpeak.com / www.snowpeak.com

### Snow Peak, Inc.

456, Nakanohara, Sanjo-Shi, Niigata 955-0147 Japan  
 Tel. +81 256-46-5858 / Fax. +81 256-46-5860  
 www.snowpeak.co.jp